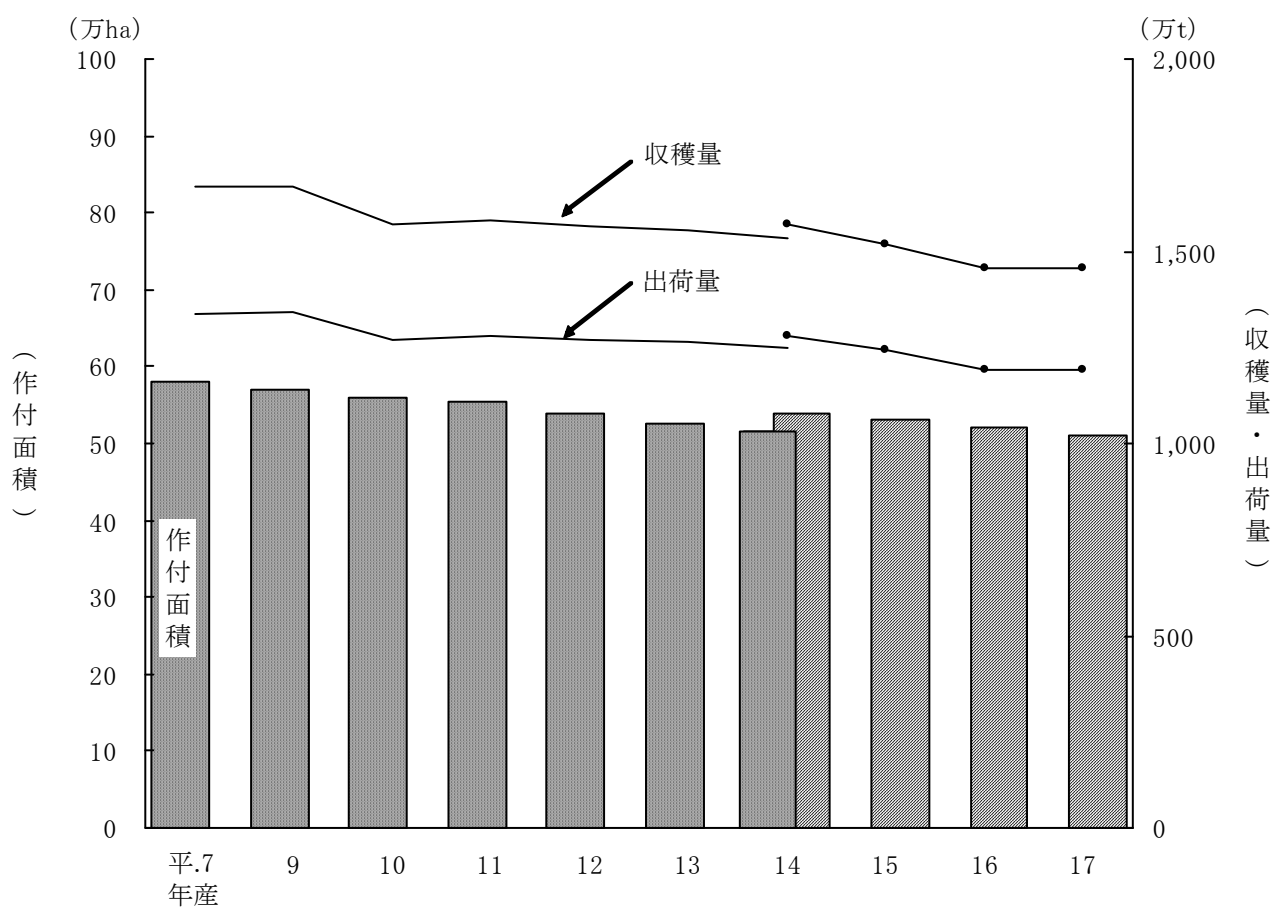


1 要 旨

平成17年産の野菜（39品目）の作付面積は51万2,000ha、収穫量は1,454万7,000 t、出荷量は1,191万 tであった。

図1 野菜の作付面積、収穫量及び出荷量




注) 平成14年産から葉茎菜類8品目（こまつな、ちんげんさい、ふき、みつば、アスパラガス、しゅんぎく、にら及びにんにく）、果菜類（そらまめ）、香辛野菜（しょうが）を新たに追加し、39品目となったため、図中、平成14年産については29品目で再集計して過去8年間と同様に表し、平成14年産以降、39品目計の作付面積を「」、収穫量及び出荷量を「・」で表した。

表1 平成17年産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作 付 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a当たり 収 量	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t					%
計	512 000	-	14 547 000	11 910 000	99	-	100	100	-
根 菜 類	187 100	-	5 762 000	4 607 000	98	-	98	98	-
だいこん	39 100	4 170	1 627 000	1 248 000	98	103	100	101	101
かぶ	5 470	2 800	153 200	120 800	96	95	91	91	96
にんじん	19 000	3 240	614 900	539 700	97	103	100	101	104
ごぼう	8 780	1 840	161 700	132 900	95	99	94	94	105
れんこん	4 170	1 540	64 200	51 300	99	107	106	104	100
ばれいしょ (じゃがいも)	86 900	3 170	2 752 000	2 242 000	100	96	95	95	99
さといも	15 000	1 230	184 500	108 500	95	105	100	99	100
やまのいも	8 750	2 330	204 100	163 700	101	102	103	103	110
葉 茎 菜 類	180 300	-	5 207 000	4 346 000	100	-	103	103	-
はくさい	19 800	4 670	924 300	702 200	98	106	104	104	102
こまつな	5 590	1 570	87 900	72 300	101	100	102	102	93
キャベツ	33 500	4 080	1 364 000	1 161 000	101	106	107	106	103
ちんげんさい	2 370	2 110	50 100	42 800	102	104	106	108	98
ほうれんそう	23 700	1 260	298 200	239 500	100	104	103	103	98
ふき	802	2 120	17 000	13 700	93	100	93	93	84
みつば	1 290	1 450	18 600	17 300	97	102	99	98	98
しゅんぎく	2 530	1 620	40 900	32 300	98	101	99	99	96
セルリー	678	5 150	34 900	33 000	95	102	97	97	99
アスパラガス	6 370	444	28 300	24 400	98	99	97	97	100
カリフラワー	1 430	1 770	25 400	20 000	98	110	108	109	99
ブロッコリー	10 700	988	105 200	90 800	107	106	113	114	98
レタ	21 500	2 570	551 700	506 500	99	110	108	107	104
ねぎ	23 100	2 140	493 500	380 800	98	103	102	102	100
にら	2 170	2 820	61 100	54 400	100	100	99	100	94
たまねぎ	23 000	4 730	1 087 000	944 400	100	97	96	96	98
にんにく	1 940	943	18 300	11 100	101	94	95	97	95
果 菜 類	112 100	-	2 650 000	2 146 000	98	-	100	100	-
きゅうり	13 400	5 020	674 600	566 300	98	102	100	100	102
かぼちや	16 900	1 390	234 100	175 900	101	104	104	105	99
なす	11 400	3 470	395 700	293 600	97	104	101	101	101
トマト	13 000	5 860	759 200	668 100	99	101	101	100	101
ピーマン	3 620	4 250	153 800	131 100	98	102	100	100	105
スイートコーン	25 900	969	251 000	191 900	96	98	95	94	100
さやいんげん	7 440	706	52 600	32 800	97	102	99	100	98
さやえんどう	4 660	626	29 200	17 900	99	103	102	102	99
そらまめ	2 710	848	23 000	16 600	98	101	99	99	101
えだまめ	13 000	591	77 100	52 100	99	105	105	107	96
香 辛 野 菜									
しょうが	1 840	2 150	39 400	27 600	97	106	103	103	101
果 実 的 野 菜	30 700	-	888 200	782 500	96	-	99	99	-
いちご	6 880	2 850	196 200	177 600	98	101	99	99	103
メロン	10 400	2 320	241 800	220 300	94	104	97	97	103
すいか	13 400	3 360	450 200	384 600	96	103	99	99	101

2 指定野菜の品目別の概要

(1) だいこん

ア 作付面積

作付面積は3万9,100haで、前年産に比べて900ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は4,170kgで、前年産を3%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は162万7,000tで、前年産並みであった。

出荷量は124万8,000tで、前年産に比べて7,000t（1%）増加した。

エ 季節区別の概況

(ア) 春だいこんの作付面積は4,970haで、前年産に比べて180ha（3%）減少した。こ

れは、北海道及び青森県で雪解けの遅れによる夏だいこんへの移行や他の野菜への転換があったこと、千葉県、熊本県等で労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a 当たり収量は4,820kgで、前年産並みであった。

この結果、収穫量は23万9,600tで、前年産に比べて9,900t（4%）減少し、出荷量は21万200tで、前年産に比べて8,700t（4%）減少した。

(イ) 夏だいこんの作付面積は7,950haで、前年産に比べて80ha（1%）減少した。

10a 当たり収量は3,470kgで、前年産並みであった。

この結果、収穫量は27万5,800tで、前年産に比べて2,200t（1%）減少し、出荷量は24万3,400tで、前年産に比べて2,100t（1%）減少した。

(ウ) 秋冬だいこんの作付面積は2万6,100haで、前年産に比べて700ha（3%）減少した。これは、群馬県等で労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a 当たり収量は4,260kgで、前年産を4%上回った。これは、台風の影響を受けた平成16年産に比べて徳島県等で天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は111万2,000tで、前年産に比べて2万t（2%）増加し、出荷量は79万4,400tで、前年産に比べて1万7,600t（2%）増加した。

図2 だいこんの作付面積及び収穫量の推移

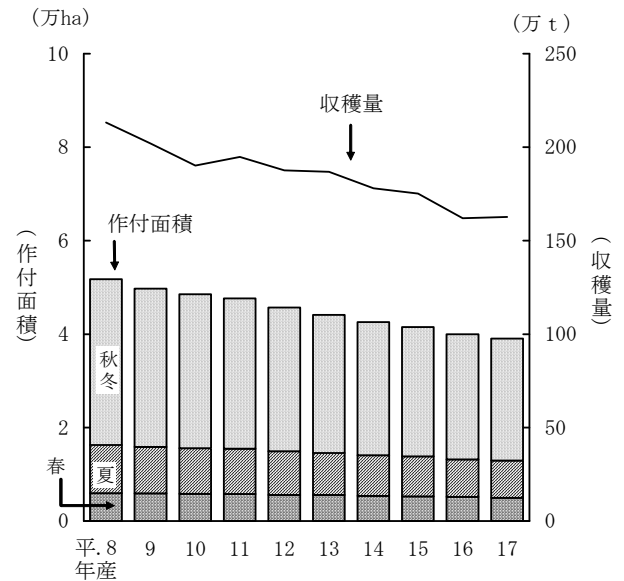


表2 平成17年産だいこんの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比 (%)				(参考) 平均収量対比
					作付面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量	
だいこん	ha	kg	t	t					%
春	4 970	4 820	239 600	210 200	97	100	96	96	101
夏	7 950	3 470	275 800	243 400	99	100	99	99	104
秋冬	26 100	4 260	1 112 000	794 400	97	104	102	102	99

(2) にんじん

ア 作付面積

作付面積は1万9,000haで、前年産に比べて500ha（3%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,240kgで、前年産を3%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は61万4,900tで、前年産並みであった。

出荷量は53万9,700tで、前年産に比べて7,100t（1%）増加した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 春夏にんじんの作付面積は4,240haで、前年産に比べて120ha（3%）減少した。

これは、徳島県で、は種期の長雨の影響による作付中止や青森県で雪解けの遅れによる秋にんじんへの移行等があったためである。

10a当たり収量は3,510kgで、前年産を2%下回った。これは、徳島県で長雨によりは種が遅れたこと及び低温、日照不足により生育が抑制されたことによる。

この結果、収穫量は14万8,900tで、前年産に比べて8,200t（5%）減少し、出荷量は13万3,600tで、前年産に比べて7,200t（5%）減少した。

(イ) 秋にんじんの作付面積は6,400haで、前年産に比べて280ha（4%）減少した。これは、北海道、青森県等で他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小があったためである。

10a当たり収量は3,200kgで、前年産を1%下回った。

この結果、収穫量は20万5,100tで、前年産に比べて1万1,300t（5%）減少し、出荷量は18万4,600tで、前年産に比べて3,500t（2%）減少した。

(ウ) 冬にんじんの作付面積は8,350haで、前年産に比べて140ha（2%）減少した。これは、宮崎県等では種期の台風の影響や労働力事情による作付中止、規模縮小があったためである。

10a当たり収量は3,130kgで、前年産を10%上回った。これは、台風や長雨の影響を受けた平成16年産に比べて天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は26万1,000tで、前年産に比べて1万8,900t（8%）増加し、出荷量は22万1,500tで、前年産に比べて1万7,800t（9%）増加した。

図3 にんじんの作付面積及び収穫量の推移

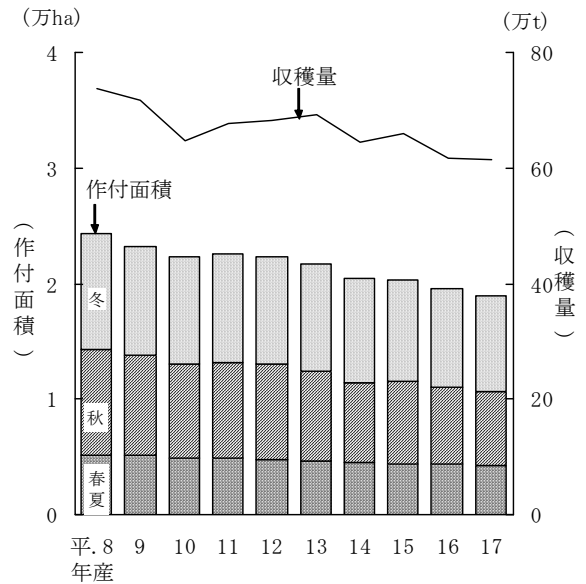


表3 平成17年産にんじんの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
にんじん	ha	kg	t	t					%
春夏	4 240	3 510	148 900	133 600	97	98	95	95	99
秋	6 400	3 200	205 100	184 600	96	99	95	98	113
冬	8 350	3 130	261 000	221 500	98	110	108	109	102

(3) ばれいしょ（じゃがいも）

ア 作付面積

作付面積は8万6,900haで、前年産並みであった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は3,170kgで、前年産を4%下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は275万2,000tで、前年産に比べて13万6,000t（5%）減少した。

出荷量は224万2,000tで、前年産に比べて11万5,000t（5%）減少した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 春植えばれいしょの作付面積は8万4,000haで、前年産並みであった。

10a 当たり収量は3,230kgで、前年産

を4%下回った。これは、長崎県、鹿児島県等で2月の長雨、日照不足や北海道で6月の高温・少雨により生育が抑制されたためである。

この結果、収穫量は271万2,000tで、前年産に比べて13万t（5%）減少し、出荷量は221万5,000tで、前年産に比べて11万1,000t（5%）減少した。

(イ) 秋植えばれいしょの作付面積は2,890haで、前年産に比べて70ha（2%）減少した。これは、労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a 当たり収量は1,400kgで、前年産を9%下回った。これは、長崎県、鹿児島県等で少雨や12月の寒波の影響から肥大が抑制されたためである。

この結果、収穫量は4万600tで、前年産に比べて4,900t（11%）減少し、出荷量は2万6,800tで、前年産に比べて4,300t（14%）減少した。

図4 ばれいしょ（じゃがいも）の作付面積及び収穫量の推移

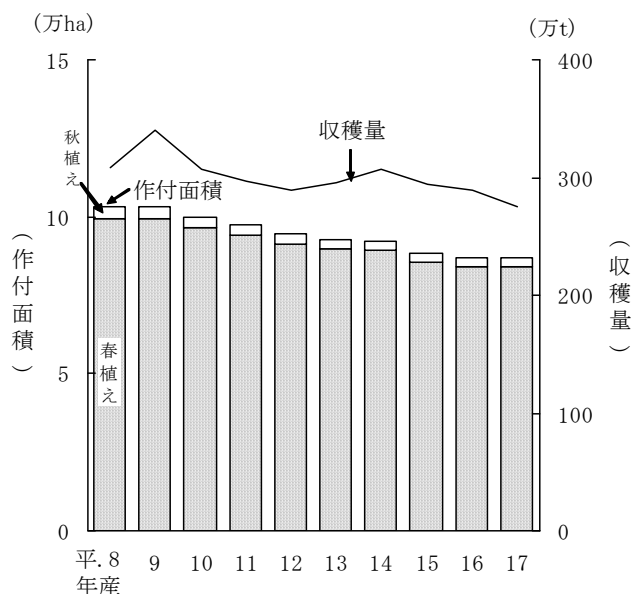


表4 平成17年産ばれいしょ(じゃがいも)の作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考)平均収量対比
					作付面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	
ばれいしょ(じゃがいも)	ha	kg	t	t	100	96	95	95	%
春植え	86 900	3 170	2 752 000	2 242 000	100	96	95	95	99
秋植え	84 000	3 230	2 712 000	2 215 000	100	96	95	95	99
	2 890	1 400	40 600	26 800	98	91	89	86	89

(4) さといも

ア 作付面積

作付面積は1万5,000haで、前年産に比べて800ha（5%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,230kgで、前年産を5%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は18万4,500tで、前年産並みであった。

出荷量は10万8,500tで、前年産に比べて1,600t（1%）減少した。

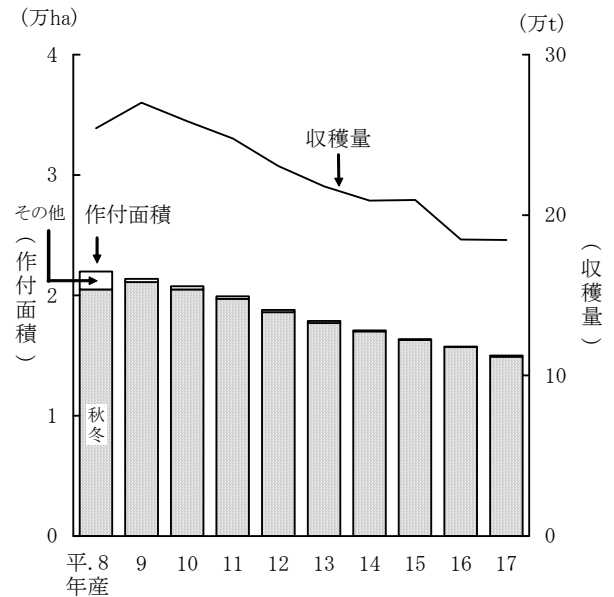
エ 季節区分別の概況

秋冬さといもの作付面積は1万4,900haで、前年産に比べて800ha（5%）減少した。これは、千葉県等で他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は1,240kgで、前年産を6%上回った。これは、定植期以降、天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は18万4,200tで、前年産並みであり、出荷量は10万8,300tで、前年産に比べて1,600t（1%）減少した。

図5 さといもの作付面積及び収穫量の推移



注：平成9年産から野菜生産出荷安定法施行令の一部改正に伴い、主たる出荷期間を秋冬さといもは8月～3月を6月～3月、その他さといもは4月～7月を4月～5月に変更した。

表5 平成17年産さといもの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
さといも	ha	kg	t	t					%
	15 000	1 230	184 500	108 500	95	105	100	99	100
うち、秋冬	14 900	1 240	184 200	108 300	95	106	100	99	101

(5) はくさい

ア 作付面積

作付面積は1万9,800haで、前年産に比べて400ha（2%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,670kgで、前年産を6%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は92万4,300tで、前年産に比べて3万6,700t（4%）増加した。

出荷量は70万2,200tで、前年産に比べて2万8,900t（4%）増加した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 春はくさいの作付面積は1,980haで、前年産に比べて70ha（3%）減少した。これは、茨城県、長野県等で労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は5,690kgで、前年産を2%下回った。これは、主に長野県で5月の低温・少雨により生育が抑制されたためである。

この結果、収穫量は11万2,700tで、前年産に比べて6,600t（6%）減少し、出荷量は9万9,800tで、前年産に比べて6,700t（6%）減少した。

(イ) 夏はくさいの作付面積は2,980haで、前年産に比べて110ha（4%）減少した。これは、北海道、長野県等で他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小があったためである。

10a当たり収量は6,000kgで、前年産を2%上回った。これは、長野県等で天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は17万8,900tで、前年産に比べて3,800t（2%）減少し、出荷量は15万6,600tで、前年産に比べて5,200t（3%）減少した。

(ウ) 秋冬はくさいの作付面積は1万4,800haで、前年産に比べて300ha（2%）減少した。これは、茨城県等で労働力事情による作付中止、規模縮小があったためである。

10a当たり収量は4,270kgで、前年産を10%上回った。これは、台風の影響を受けた平成16年産に比べて天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は63万2,600tで、前年産に比べて4万7,100t（8%）増加し、出荷量は44万5,800tで、前年産に比べて4万800t（10%）増加した。

図6 はくさいの作付面積及び収穫量の推移

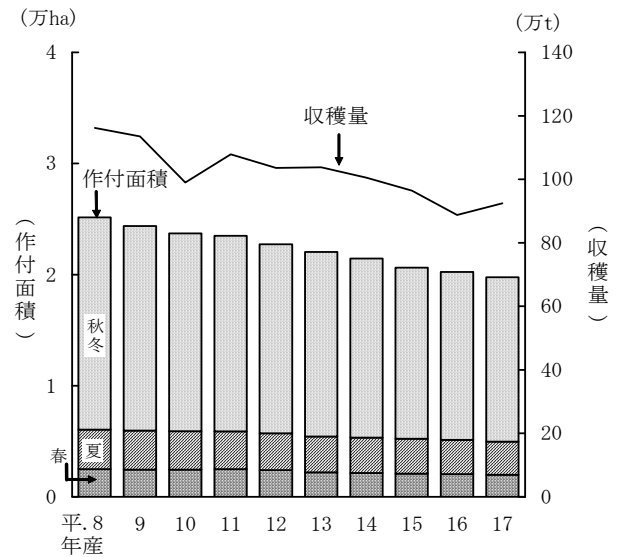


表6 平成17年産はくさいの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考)平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
はくさい	ha	kg	t	t					%
はくさい	19 800	4 670	924 300	702 200	98	106	104	104	102
春	1 980	5 690	112 700	99 800	97	98	94	94	99
夏	2 980	6 000	178 900	156 600	96	102	98	97	104
秋冬	14 800	4 270	632 600	445 800	98	110	108	110	101

(6) キャベツ

ア 作付面積

作付面積は3万3,500haで、前年産に比べて200ha（1%）増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,080kgで、前年産を6%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は136万4,000tで、前年産に比べて8万5,000t（7%）増加した。

出荷量は116万1,000tで、前年産に比べて6万1,000t（6%）増加した。

エ 季節区別の概況

(ア) 春キャベツの作付面積は8,800haで、前年産並みであった。

10a当たり収量は4,060kgで、前年産を1%上回った。

この結果、収穫量は35万6,900tで、前年産に比べて2,100t（1%）増加し、出荷量は30万2,300tで、前年産並みであった。

(イ) 夏秋キャベツの作付面積は1万400haで、前年産に比べて300ha（3%）減少した。これは、北海道、青森県で他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小があったためである。

10a当たり収量は4,230kgで、前年産に比べて6%上回った。これは、天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は44万1,900tで、前年産に比べて1万3,200t（3%）増加したが、出荷量は36万6,100tで、産地廃棄があったことから、前年産に比べて6,000t（2%）減少した。

(ウ) 冬キャベツの作付面積は1万4,200haで、前年産に比べて500ha（4%）増加した。これは、愛知県等で昨年台風と長雨により作付け出来なかったほ場への作付けや他の野菜からの転換等があったためである。

10a当たり収量は3,980kgで、前年産を10%上回った。これは、台風の影響を受けた平成16年産に比べて天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は56万5,600tで、前年産に比べて7万t（14%）増加し、出荷量は49万2,500tで、前年産に比べて6万6,900t（16%）増加した。

図7 キャベツの作付面積及び収穫量の推移

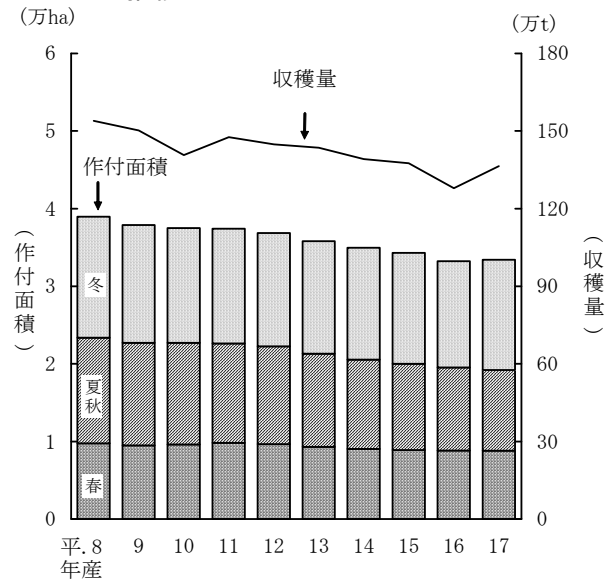


表7 平成17年産キャベツの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
キ ャ ベ ツ	ha	kg	t	t					%
	33 500	4 080	1 364 000	1 161 000	101	106	107	106	103
春	8 800	4 060	356 900	302 300	100	101	101	100	102
夏 秋	10 400	4 230	441 900	366 100	97	106	103	98	105
冬	14 200	3 980	565 600	492 500	104	110	114	116	101

(7) ほうれんそう

ア 作付面積

作付面積は2万3,700haで、前年産並みであった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,260kgで、前年産を4%上回った。これは、天候に恵まれて生育が順調であったためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は29万8,200tで、前年産に比べて9,500t(3%)増加した。

出荷量は23万9,500tで、前年産に比べて7,600t(3%)増加した。

図8 ほうれんそうの作付面積及び収穫量の推移

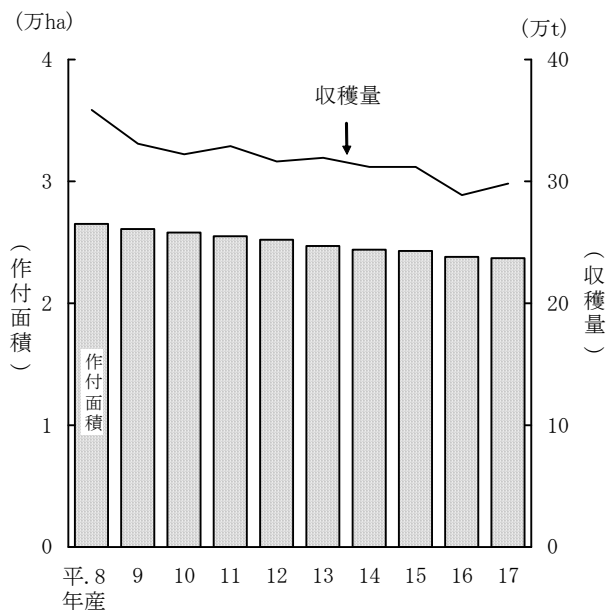


表8 平成17年産ほうれんそうの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量対 比
					作付面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ほうれんそう	ha 23 700	kg 1 260	t 298 200	t 239 500	100	104	103	103	% 98

(8) レタス

ア 作付面積

作付面積は2万1,500haで、前年産に比べて300ha（1%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,570kgで、前年産を10%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は55万1,700tで、前年産に比べて4万2,400t（8%）増加した。

出荷量は50万6,500tで、前年産に比べて3万3,300t（7%）増加した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 春レタスの作付面積は4,430haで、前年産並みであった。

10a当たり収量は2,660kgで、前年産を1%下回った。

この結果、収穫量は11万8,100tで、前年産に比べて1,700t（1%）減少し、出荷量は10万9,400tで、前年産に比べて600t（1%）減少した。

(イ) 夏秋レタスの作付面積は8,870haで、前年産に比べて190ha（2%）減少した。これは、長野県等で他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は2,800kgで、前年産を10%上回った。これは、台風の影響を受けた平成16年産に比べて天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は24万8,400tで、前年産に比べて1万7,200t（7%）増加し、出荷量は22万6,900tで、前年産に比べて8,200t（4%）増加した。

(ウ) 冬レタスの作付面積は8,170haで、前年産に比べて110ha（1%）減少した。これは、労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は2,270kgで、前年産を19%上回った。これは、台風の影響を受けた平成16年産に比べて天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は18万5,300tで、前年産に比べて2万7,000t（17%）増加し、出荷量は17万100tで、前年産に比べて2万5,600t（18%）増加した。

図9 レタスの作付面積及び収穫量の推移

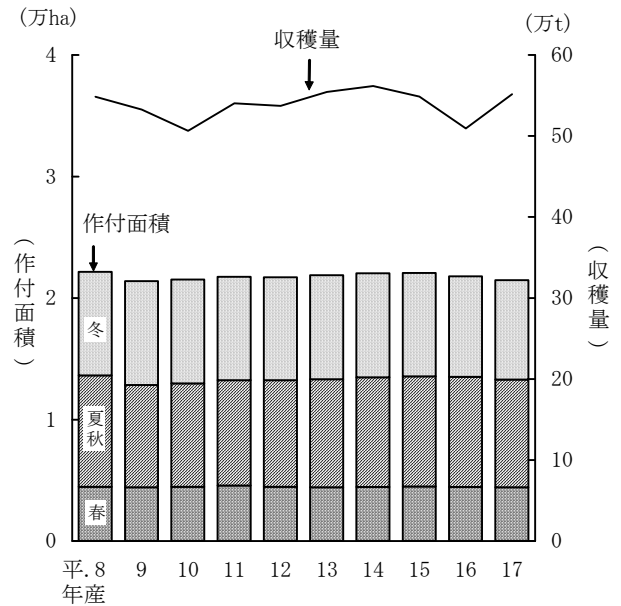


表9 平成17年産レタスの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考)平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
レタス	ha	kg	t	t					%
	21 500	2 570	551 700	506 500	99	110	108	107	104
春	4 430	2 660	118 100	109 400	100	99	99	99	98
夏秋	8 870	2 800	248 400	226 900	98	110	107	104	107
冬	8 170	2 270	185 300	170 100	99	119	117	118	103

(9) ねぎ

ア 作付面積

作付面積は2万3,100haで、前年産に比べて400ha(2%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,140kgで、前年産を3%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は49万3,500tで、前年産に比べて8,000t(2%)増加した。

出荷量は38万800tで、前年産に比べて5,700t(2%)増加した。

エ 季節区別の概況

(ア) 春ねぎの作付面積は3,320haで、前年産に比べて40ha(1%)減少した。

10a当たり収量は2,500kgで、前年産を2%下回った。これは、千葉県等で定植期以降の低温により生育が抑制されたためである。

この結果、収穫量は8万3,000tで、前年産に比べて2,200t(3%)減少し、出荷量は7万1,300tで、前年産に比べて2,300t(3%)減少した。

(イ) 夏ねぎの作付面積は5,160haで、前年産に比べて150ha(3%)減少した。これは、茨城県等で他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は1,960kgで、前年産を3%上回った。これは、定植期以降、天候に恵まれて生育が順調であったためである。

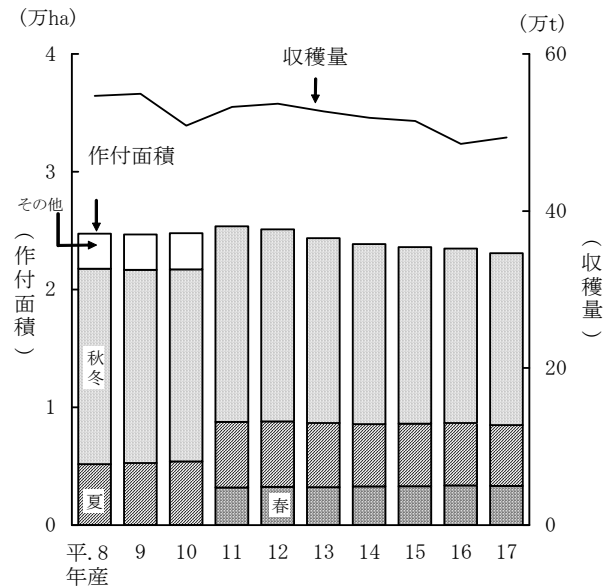
この結果、収穫量は10万1,300t、出荷量は8万5,700tで、それぞれ前年産並みであった。

(ウ) 秋冬ねぎの作付面積は1万4,600haで、前年産に比べて200ha(1%)減少した。これは、他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小があったためである。

10a当たり収量は2,120kgで、前年産を5%上回った。これは、台風の影響を受けた平成16年産に比べて天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は30万9,200tで、前年産に比べて1万100t(3%)増加し、出荷量は22万3,800tで、前年産に比べて8,300t(4%)増加した。

図10 ねぎの作付面積及び収穫量の推移



注：春ねぎは、野菜生産出荷安定法施行令（昭和41年政令第224号）の一部改正により平成11年産から新たに調査対象となった。

表10 平成17年産ねぎの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
ね ぎ	ha	kg	t	t					%
	23 100	2 140	493 500	380 800	98	103	102	102	100
春	3 320	2 500	83 000	71 300	99	98	97	97	100
夏	5 160	1 960	101 300	85 700	97	103	100	100	100
秋 冬	14 600	2 120	309 200	223 800	99	105	103	104	100

(10) たまねぎ

ア 作付面積

作付面積は2万3,000haで、前年産並みであった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,730kgで、前年産を3%下回った。これは、北海道で6月及び8月の高温・少雨により生育が抑制されたためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は108万7,000tで、前年産に比べて4万1,000t(4%)減少した。

出荷量は94万4,400tで、前年産に比べて4万1,100t(4%)減少した。

図11 たまねぎの作付面積及び収穫量の推移

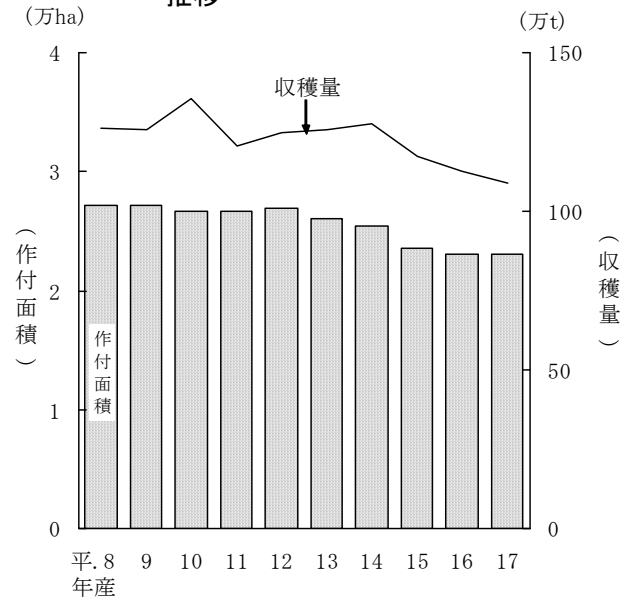


表11 平成17年産たまねぎの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a 当たり 収 取	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比
					作付面積	10a 当たり 収 取	収 穫 量	出 荷 量	
た ま ね ぎ	ha 23 000	kg 4 730	t 1 087 000	t 944 400	100	97	96	96	% 98

(11) きゅうり

ア 作付面積

作付面積は1万3,400haで、前年産に比べて300ha(2%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は5,020kgで、前年産を2%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は67万4,600tで、前年産並みであった。

出荷量は56万6,300tで、前年産並みであった。

エ 季節区分別の概況

(ア) 冬春きゅうりの作付面積は3,490haで、前年産に比べて80ha(2%)減少した。これは、労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は1万kgで、前年産並みであった。

この結果、収穫量は34万9,600tで、前年産に比べて8,100t(2%)減少し、出荷量は32万4,200tで、前年産に比べて7,300t(2%)減少した。

(イ) 夏秋きゅうりの作付面積は9,950haで、前年産に比べて250ha(2%)減少した。これは、他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は3,270kgで、前年産を5%上回った。これは、台風の影響を受けた平成16年産に比べて定植期以降、天候に恵まれ生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は32万5,000tで、前年産に比べて9,700(3%)増加し、出荷量は24万2,100tで、前年産に比べて7,500t(3%)増加した。

図12 きゅうりの作付面積及び収穫量の推移

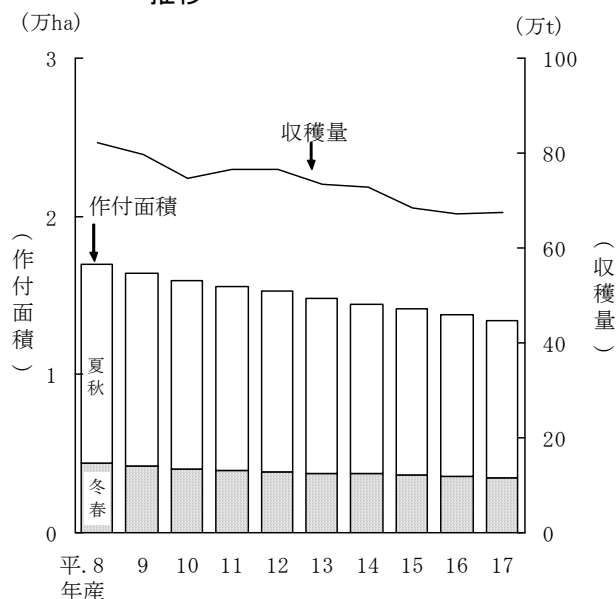


表12 平成17年産きゅうりの作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 取	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量対比
					作 付 面 積	10a 当 たり 収 取	収 穫 量	出 荷 量	
き ゅ う り	ha	kg	t	t					%
	13 400	5 020	674 600	566 300	98	102	100	100	102
冬 春	3 490	10 000	349 600	324 200	98	100	98	98	102
夏 秋	9 950	3 270	325 000	242 100	98	105	103	103	100

(12) なす

ア 作付面積

作付面積は1万1,400haで、前年産に比べて300ha(3%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,470kgで、前年産を4%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は39万5,700tで、前年産に比べて5,500t(1%)増加した。

出荷量は29万3,600tで、前年産に比べて3,200t(1%)増加した。

エ 季節区分別の概況

(ア) 冬春なすの作付面積は1,420haで、前年産に比べて30ha(2%)減少した。これは、高知県等で他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は1万300kgで、前年産を1%上回った。

この結果、収穫量は14万5,900tで、前年産に比べて2,200t(1%)減少し、出荷量は13万7,400tで、前年産に比べて1,800t(1%)減少した。

(イ) 夏秋なすの作付面積は9,990haで、前年産に比べて310ha(3%)減少した。これは、他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は2,500kgで、前年産を6%上回った。これは、台風の影響を受けた平成16年産に比べて定植期以降、天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は24万9,800tで、前年産に比べて7,800(3%)増加し、出荷量は15万6,200tで、前年産に比べて5,000t(3%)増加した。

図13 なすの作付面積及び収穫量の推移

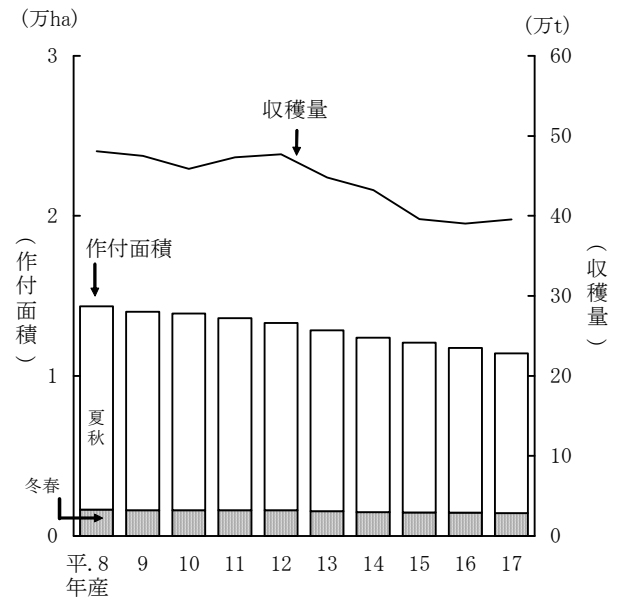


表13 平成17年産なすの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考) 平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
なす	ha	kg	t	t					%
	11 400	3 470	395 700	293 600	97	104	101	101	101
冬春	1 420	10 300	145 900	137 400	98	101	99	99	100
夏秋	9 990	2 500	249 800	156 200	97	106	103	103	100

(13) トマト

ア 作付面積

作付面積は1万3,000haで、前年産に比べて100ha（1%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は5,860kgで、前年産を1%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は75万9,200tで、前年産に比べて4,300t（1%）増加した。

出荷量は66万8,100tで、前年産並みであった。

エ 季節区分別の概況

(ア) 冬春トマトの作付面積は4,170haで、前年産並みであった。

10a当たり収量は9,270kgで、前年産を1%下回った。

この結果、収穫量は38万6,800tで、前年産に比べて3,800t（1%）減少し、出荷量は36万2,700tで、前年産に比べて3,200t（1%）減少した。

(イ) 夏秋トマトの作付面積は8,790haで、前年産に比べて100ha（1%）減少した。

10a当たり収量は4,240kgで、前年産を3%上回った。これは、台風の影響を受けた16年産に比べて定植期以降、天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は37万2,400tで、前年産に比べて8,000t（2%）増加し、出荷量は30万5,400tで、前年産に比べて5,300t（2%）増加した。

図14 トマトの作付面積及び収穫量の推移

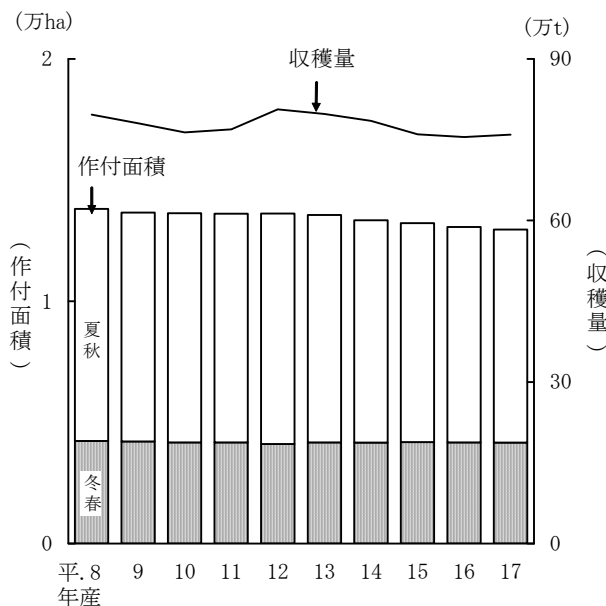


表14 平成17年産トマトの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比(%)				(参考)平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
トマト	ha	kg	t	t					%
トマト	13 000	5 860	759 200	668 100	99	101	101	100	101
冬春	4 170	9 270	386 800	362 700	100	99	99	99	100
夏秋	8 790	4 240	372 400	305 400	99	103	102	102	100

(14) ピーマン

ア 作付面積

作付面積は3,620haで、前年産に比べて60ha（2%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,250kgで、前年産を2%上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は15万3,800tで、前年産並みであった。

出荷量は13万1,100tで、前年産並みであった。

エ 季節区分別の概況

(ア) 冬春ピーマンの作付面積は826haで、

前年産に比べて5ha（1%）減少した。

10a当たり収量は9,490kgで、前年産

を3%下回った。これは、高知県、宮崎県等で台風の影響から定植が遅れて生育が抑制されたこと、病虫害の発生があったことによる。

この結果、収穫量は7万8,400tで、前年産に比べて2,700t（3%）減少し、出荷量は7万3,800tで、前年産に比べて2,700t（4%）減少した。

(イ) 夏秋ピーマンの作付面積は2,790haで、前年産に比べて60ha（2%）減少した。これは、北海道等で他の野菜への転換や労働力事情による作付中止、規模縮小等があったためである。

10a当たり収量は2,700kgで、前年産を6%上回った。これは、台風の影響を受けた平成16年産に比べて定植期以降、天候に恵まれて生育が順調であったためである。

この結果、収穫量は7万5,500tで、前年産に比べて3,200t（4%）増加し、出荷量は5万7,300tで、前年産に比べて2,900t（5%）増加した。

図15 ピーマンの作付面積及び収穫量の推移

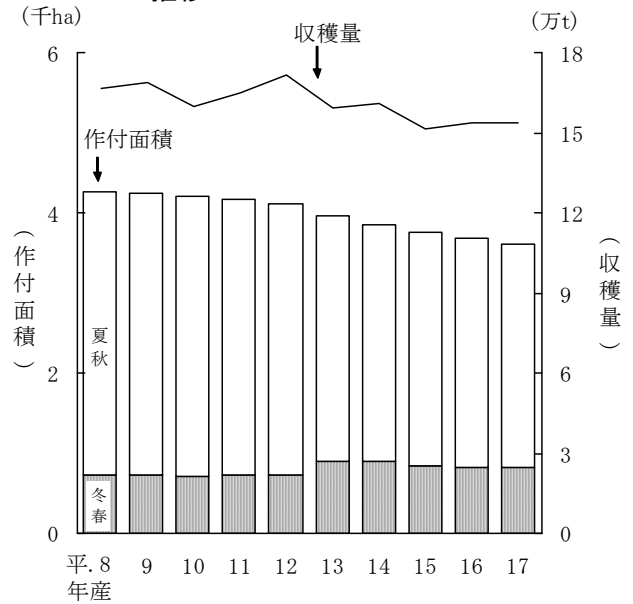


表15 平成17年産ピーマンの作付面積、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比 (%)				(参考) 平均収量対比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
ピーマン	ha	kg	t	t					%
	3 620	4 250	153 800	131 100	98	102	100	100	105
冬春	826	9 490	78 400	73 800	99	97	97	96	100
夏秋	2 790	2 700	75 500	57 300	98	106	104	105	103